

# 井戸水を ライフラインに 使う。

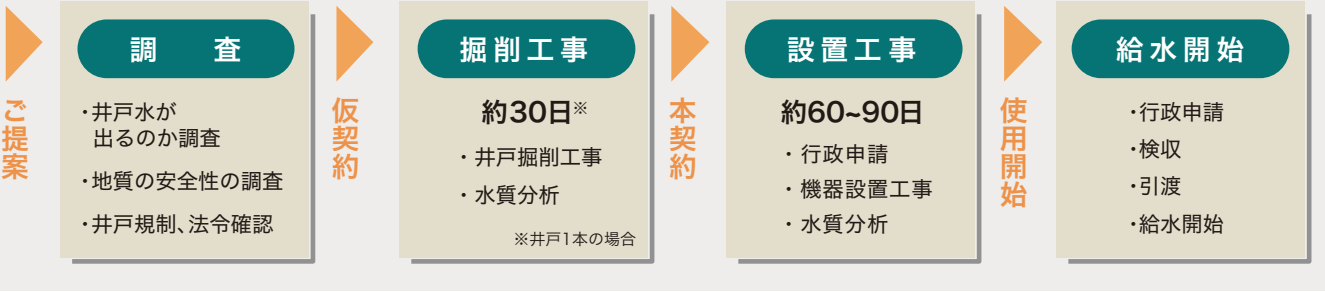
病院・工場・ホテル・商業施設など  
水を多く使用する施設に…  
井戸水利用で災害対策  
水道料金を20~50%削減

井戸水は適切な処理をすることで水道水同様、飲料水としてご利用いただけます。また公共水道が断水した場合でも井戸水があれば水を確保することができるため最も有効な災害対策システムの1つであると注目されています。井戸の掘削・関係官庁への申請・工事・メンテナンスまで一貫して行っており全国各地、多くのお客様に喜ばれています。災害時、水は非常に貴重です。井水浄水装置があれば施設用水を確保できるだけでなく、周辺住民へ水を提供することも可能です。



## 導入の流れ

私たちは、井戸水を皆さまへお届けするために最適なシステムをご提案しています。調査、工事管理から給水に至るまで確実な工程と適切な処理で「最良の水」をお届けします。



### 「医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院」に設置した井水浄水装置



納入：平成29年4月  
用途：飲料水および施設用水として利用している  
災害時には、近隣住民への水の供給も行われる計画



#### 医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院

【所在地】福岡県春日市  
【病床数】602床(一般病床)  
【認定施設】厚生労働省臨床研修指定病院、外国医師臨床研修指定病院、日本医療機能評価機構認定病院(認定第GB56-4号)、地域医療支援病院、災害拠点病院  
【救急件数】平成28年実績 10,012件

## 井水浄水装置で災害に強い施設づくり 災害対策として井水浄水装置の需要が急増しています

「事業者は従業員の3日分の水(目安：1人9リットル)や食料を備蓄すること」と定められたため、備蓄スペースの確保が困難な大型ビル等での井水浄水装置の設置需要が増加しています。

当社ではこれらの災害対策需要に呼応し、16年度には、九州地区の大型病院、そして東京都内の大型ビルで井水浄水装置を設置いたしました。

当社の納入先は病院(ビル)、工場、ホテル、商業施設、老人介護施設等、多岐にわたります。お客様の水の使用状況、ニーズをお伺いし、ご要望に応じた最適なプランをご提案いたしますので、ぜひ、お問い合わせください。

東日本大震災や熊本地震、九州北部豪雨など、度々なる大規模災害を教訓に近年、ライフラインとしての水の確保への意識が高まっており、企業の井水浄水装置の需要が急増しています。

特に納入施設で伸びが顕著なのが大学病院をはじめとする大型病院です。災害拠点病院では、適切な容量の受水槽の保有が義務付けられており、停電時にも安定的に水を供給できる井戸設備への関心が高く、診療を続けるための業務継続計画(BCP)策定が義務付けられたことも必要の要因となっています。

また、オフィスビルでの需要も首都圏を中心に相次いでいます。そのきっかけとなったのが2013年に東京都が施行した「帰宅困難者対策条例」です。大規模災害発生時に一斉帰宅を抑制するために

おかげさまで創業48年

**ZEOLITE** Intertek UKAS MANAGEMENT SYSTEMS

ISO9001 ISO14001 認証取得 (フリーダイヤル) **0120-41-3213** <http://www.zeolite.co.jp>

Tel 092-441-0793(代) Fax 092-441-0796 〒812-0893 福岡市博多区那珂 5-1-11 支店: 東京/大阪/名古屋 営業所: 東関東/岡山/熊本/大分/長崎/北九州/宮崎

井戸水の有効利用で「災害対策」と「経費削減」を実現します!

逆浸透膜による井水浄水装置 全国1,000カ所以上で稼働中! 井戸水のゼオライト 検索 [でクリック!](#)